

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [愛知県立みあい特別支援学校] 担当教諭名 [石川 静江・星野 百合子] (高等部2年 38名)
 相手国・地域 [ジャマイカ]

海外学校名 [Manchester High School] 担当教諭名 [Nicholas Rose / Javion Wilson / Dahron Johnson / 大津 有輝(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|----|--------|-----|
| | 美術 | 壁画共同制作 | 18 |
| | | | |

■作品に込めた想いについて教えてください。

| 題 (テーマ) | 文化とスポーツの木 |
|------------------------------|--|
| メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い) | 国境を越え、相手を受け入れられる力を育めるよう二本の木を描きました。木に実ったのは、いろいろな人・場所・景色・スポーツ・食べ物・考え方を共有し共生社会の一員として生きていきたいと願う子ども達の気持ちです。二本の木が互いに支え合いながら今後もすくすく成長することを願います。 |

左: 日本での完成

右: 両国での完成作品



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・海外の友達という、今まで生徒が出会ったことのない社会の人々と繋がる経験は、新たな世界観を広げることができた。 ・相手の考え方や両国の歴史や社会背景などの条件を考えながらデザインすることなど、これらの人との繋がったことでより向上でき、普段の授業では会得できなかったことが多くあると考えられる。 | 美術的な活動に対する制作経験、技術の向上は概ね成果は感じられたものの、ESDの視点による目標である「周りにはいろんな人、物、景色、出来事、考え方があり、それらを自ら積極的に受け入れようという意識をもつ」という点においては、今後もESDの視点による様々な学習を積む必要がある。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|--|--|
| 自己紹介カードや写真、メールのやりとりから、体型や肌の色、本校の生徒が日々興味関心のある話題とは違う内容を見て、ジャマイカの高校生の生活習慣や考え方を知るとともに、自分たちとの違いを感じる事ができた。 | ジャマイカから届いた自己紹介カードを真剣な眼差しで読む生徒の表情を見て、言葉の違いや、育った環境の違いがあっても、それを面白いと感じて受け入れる力があるのだと学んだ。生徒に知りたいこと、調べたいことを尋ね、自発的な学びに繋がるような発問をするようになった。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|-----------------------|-----------------|---|---|-------|
| 出会い 自己紹介 | 9月 | アートマイル活動の紹介 自己紹介カードの制作 (自分を知ろう、日本について調べよう) | 外国の生徒と交流することにはイメージが湧かないでいた。 日本の文化を調べる活動では、地元の八丁味噌など日頃食べている物や自分が好きなアニメについて調べた。 | 美術 |
| 共有 テーマ学習 | 10月 | 交流国のジャマイカの紹介 (風土、食べ物、歴史、スポーツの調べ学習及び掲示物の作成) | 自分から調べたいことを発表し、国の歴史、スポーツ、食文化など分担して調べた。ジャマイカが過去に植民地だったことを知りショックを受けた。 | 美術 |
| 融合 メッセージ 壁画デザイン | 10月 | ジャマイカに日本の文化を紹介 (①日本発祥の文化を調べ、調べたものを絵に描く。 ②日本・学校紹介ビデオの作成) | 海外に伝えたい日本の良さを尋ねると、寿司、相撲、漫画などの意見が挙がった。紹介ビデオでは、伝えたい内容を考え、タブレット端末を使用して生徒だけで意欲的に作成できた。 | 美術 |
| 創造 壁画制作 | 10月 ～ 12月 | 壁画制作 (下絵、絵の具の混ぜ方塗り方、色塗り) | 日本を象徴する木として「桜」を選び、桜の絵をベースにデザインを考えた。背景や花びらを3段階のグラデーションになるよう混色を工夫したり、壁につるして遠くから全体のバランスをみんな確認したりしながら描けた。 | 美術 |
| 評価 振り返り 自己評価 | 12月 3月 | 鑑賞 12月…完成した絵を鑑賞 3月…ジャマイカから届いた絵の鑑賞 | 長い時間かけて相談し、ようやく絵が完成したときには、達成感を得たようで、大きな歓声があがった。ジャマイカから絵が届いたときは感動した。 | 美術 |

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

| 学習目標・つけたい力 | 目標 | 成果 | 成果についてそう感じた場面・理由 |
|--------------------------|----|----|---|
| 自文化の理解 | A | 5 | 調べ学習をし、カテゴリーに分けて掲示した。自分が調べなかったことについて興味をもち、自分で調べようとする場面があった。 |
| 異文化の理解 | A | 4 | 調べ学習をし、初めて知ったことをうれしそうに友達に話す生徒の様子が見られた。 |
| コミュニケーション力 (説明・共感・英語) | B | 3 | 英語で会話できなかったが、英語で学校紹介のビデオを作って掲示板に投稿したり、自己紹介カードを作成したりした。 |
| 情報活用能力 (情報収集・発信) | A | 3 | 自分たちで調べたいことについて意見を出し、それを元に調べ学習をしたのは、初めてである。情報収集の方法が分かった。 |
| 人間関係をつくる (学級内・海外の相手) | B | 2 | 学級内で協力できたが、海外の相手と交流するのは難しかった。相手を受け入れる気持ちが育った。 |
| 協働する力 (役割分担・協力) | A | 5 | 大きな絵を運ぶときに声をかけ合い協力できた。友達の絵を褒めたり、色塗りを褒めたりし、役割を意識して取り組めた。 |
| 学習を追究する意欲 | A | 3 | ジャマイカだけでなく、学級内にいる外国籍の生徒にも注目でき、国籍の違いを肯定的に受け入れられるようになった。 |
| 表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す) | A | 5 | 英語で伝えることは難しかったが、絵にしたことで、自分の得意なことや大切に思っている気持ちを伝えられた。 |
| 評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価) | A | 4 | 作品のどの部分が良いのか考え答えられた。自分の担当した活動について話し、どこに力を入れて取り組んだか発表できた。 |